

第58回東京矯正管区教誨師研修千葉大会実施結果報告書

1 大会実施年月日

平成26年6月23日（月）及び24日（火）

2 大会実施場所

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

住 所 〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3

電話番号 043-296-1111

3 大会目的

千葉県で活動する私たちは、千葉県教誨師会に所属し、県内にある4つの矯正施設（千葉刑務所、市原刑務所、市原学園及び八街少年院）を訪問して、被収容者及び被収容少年の宗教的な希望に応え、彼らが改善更生・社会復帰するための援助をするほか、会として外部講師を招へいして互いに研修を行うなど、日々、自己研鑽に励んでいる。

本大会を通じ、将来を担う次世代が未来に希望の持てる社会を築き、また、出所・出院者が再犯・再非行しない、誰もが安心して暮らせる安全な社会の実現に資するような教誨活動を目指し、各自の宗教教誨及び各施設における今後の宗教教誨の在り方を研究討議する。

4 参加者

教誨師209名、矯正施設関係者49名、その他関係者65名 計323名

5 内 容

(1) 第1日目（平成26年6月23日（月））

ア 大会式典 午後1時30分から午後2時30分まで

イ 第一次研修会 午後2時50分から午後5時15分まで

(2) 第2日目（平成26年6月24日（火））

ア 第二次研修会 午前8時30分から午前10時00分まで

（ア）千葉刑務所教誨師会 刑執行開始時の指導、集合教誨、一般改善指導

（イ）市原刑務所教誨師会 刑執行開始時の指導における講話

（ウ）市原学園教誨師会 集合教誨

（エ）八街少年院教誨師会 個別教誨、集合教誨

イ 総会・閉会式 午前10時30分から午前11時35分まで

6 研修の成果

本大会では、第一日目に、千葉県下4つの矯正施設に所属する13名の教誨師が、発題者として実際の教誨場面を録画した「教誨実演ビデオ」を参加者に放映した。第二日目は、前日に視聴したビデオを基に、発題者が所属する4つの施設に分かれ、研究討議を行った。現在、矯正施設では、「再犯防止に向けた総合対策」に基づき、再入率の減少に係る数値目標の達成に向けて、改善指導や矯正教育の強化、社会復帰支援の充実など様々な施策を積極的に推進しており、私たち教誨師は、矯正施設

における日々の教誨活動を通して、施設職員では果たせない「こころ」の分野を支えながら、被収容者・被収容少年の改善更生と一日も早い社会復帰を願いながら教誨を実施しています。

本大会のサブテーマである「求められる教誨を目指して」にあるように、被収容者・被収容少年、施設職員はもとより、彼らの社会復帰を一日千秋の思いで待ち続けている御家族、また、彼らの真の改善更生を強く望んでいる被害者やその御遺族からも「求められる教誨」を実現できるよう教誨活動の一層の充実に向けて尽力することを、教誨師としての新たな使命感として再認識した。

7 写真

同封のとおり

8 研修事業評価委員会

(1) 実施日時

平成26年6月26日（木）午後3時から午後5時まで

(2) 実施場所

千葉刑務所第一会議室

(3) 委員会参加者

ア 教誨師（計3名）

遠藤了義教誨師（教誨師研修千葉大会本部長・千葉県教誨師会会長）

旭照愿教誨師（教誨師研修千葉大会総務部長・千葉県教誨師会副会長）

西土真芳教誨師（教誨師研修千葉大会財務部長・千葉県教誨師会副会長）

加藤泰裕教誨師（教誨師研修千葉大会研修部長・千葉県教誨師会副会長）

イ 施設職員（計2名）

土橋孝爾（千葉刑務所分類教育部教育統括・同所分科会助言者）

豊田一成（千葉刑務所分類教育部看守部長・施設教誨係）

(4) 協議内容

ア 遠藤大会本部長挨拶

皆様、大変お疲れさまでした。無事に終えることができ、ほっとしています。

千葉県教誨師会会員、施設職員が一丸となり、大会に臨んだ結果だと思えます。ありがとうございました。大会に参加されたほかの教誨師から、好評を得ています。今後は、大会記録の作成もあり、まだまだ気を抜けませんが、御協力のほど、お願いします。

イ 所感

(ア) 西土財務部長

事務局職員、旅行代理店、ホテルスタッフがそれぞれ、積極的に責任を持って、役割を果たしてくれたので、予算オーバーすることなく大会を運営することができました。ありがとうございました。

(イ) 旭総務部長

充分なりハーサルの時間が取れず、多少不安がありましたが、蓋を開けて

みれば、そんな心配も杞憂に終わりました。私には4回目の教誨師大会でしたが、研修内容、懇親会など、今までの大会の中で一番良かったと思っています。

(ウ) 加藤研修部長

研修部長としての大役を無事に果たせることができ安心していきます。今度は、大会記録のダイジェスト作成が始まるので、再び、皆様のお力添えをお願いしたいと存じます。

(エ) 土橋教育統括

利便性の良い会場で大会が行われたこと、また、大会もスムーズに行われ、参加された教誨師の先生方だけでなく、施設職員も満足していた様子が感じ取れました。

(オ) 豊田看守部長

教誨係として5年、私のような若輩者がこのような大会のお手伝いをさせていただくことに不安が大きかったですが、先生方の温かいお言葉に支えられながら、無事に終えることができました。本当の意味での千葉大会終了は、大会記録の発送をもってですので、気を抜かず最後まで頑張りたいと思います。

9 アンケート結果について（配付数323枚。回収289枚。回収率約89%）

(1) 研修テーマについて

	項目	人数
1	適切であった。	255名
2	どちらともいえない。	31名
3	適切ではなかった。	2名
4	未記入	1名

(2) 研修内容について

	項目	人数
1	適切であった。	261名
2	どちらともいえない。	23名
3	適切ではなかった。	2名
4	未記入	3名

(3) 研修の成果について

	項目	人数
1	大いにあった。	259名
2	どちらともいえない。	27名
3	あまりなかった。	2名
4	未記入	1名

(4) 実施体制について

	項目	人数
--	----	----

1	充分だった。	255名
2	どちらともいえない。	30名
3	不十分だった。	0名
4	未記入	4名

(5) 研修会全体の感想（抜粋）

- ア 他施設で行われている教誨場面を知ることができて、とても参考になった。
- イ 千葉県教誨師会は、L A, A, 少年施設があり、被収容者だけでなく、被収容少年にも教誨をすることができてうらやましい。
- ウ 懇親会の料理、余興ともに良かった。
- エ 宿泊部屋が個室であったので、ゆっくりと過ごすことができた。
- オ 分科会で、座長がひとりで話をしている施設があり、質疑応答の時間がなかったのが残念である。
- カ ビデオに映っていた受刑者の発言は、やらせではないのか。
- キ 映像がきれいで、見やすかった。
- ク 分科会で、施設により人数にばらつきがあったので、改善策を講じた方が良いのではないか。

(7) 研修会の課題・改善すべきと思われる点

- ア パワーポイントを使用しての発表など斬新で良かったが、内容に、もう少しボリュームが欲しかった。
- イ 発題者の発言時間をもう少し多く取っても良かったと思う。
- ウ 座長は、自説を展開するのではなく、出席者から意見を徴するなどの工夫が必要ではないか。
- エ 誰に求められる教誨なのか、具体的にした方が、分かりやすかったと思う。
- オ 全体会で視聴したビデオの時間が長く、座っているのがつらかった。

(8) 研修会で得ることができた教訓、その他アピールしたい点

- ア 他施設の教誨状況を見て、自身の教誨を見直す、良いきっかけになった。
- イ ビデオを視聴してのアンケート結果についても記録を出すと、より良いと思う。
- ウ 若手教誨師は、勉強になったと思う。
- エ 受刑者や少年から、意見を求めるなど、法話が一方通行にならないような工夫をしているのが分かった。
- オ 教誨を受けていた釈放者の考えや気持ちを知ることができたら良いと思った。

(9) 全体を通しての満足度

	項目	人数
1	満足	249名
2	やや満足	17名
3	普通	14名

4	やや不満	4名
5	不満	0名
6	未記入	5名